

公表

## 事業所における自己評価総括表 (児童発達支援)

○事業所名	OZデイしゅうなん 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	R8 年 1 月 2 0 日		R8 年 1 月 3 1 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3人	(回答者数) 100%
○従業者評価実施期間	R8 年 1 月 2 0 日		R8 年 1 月 3 1 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1 0 人	(回答者数) 60%
○事業者向け自己評価表作成日	R8 年 2 月 1 0 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医療的ケア児の受け入れに関して積極的に行なっている。	看護職員以外のスタッフによる医療的ケアの実施を行っている。 小児科救急病院との連携。 現在来ている児童発達支援の医療的ケア率は100%	看護スタッフの充実と知識・技術の向上。 看護職員の採用強化。
2	理学療法士による施術がある。	病院での施術の様子を見学し、現場の支援や施術に活かしている。 また、他のフランチャイズとの情報共有を行い、重心児リハに慣れていないスタッフも知識やアドバイスを得て、自信を持って施術できる、	他職種とも連携を図り、日常の支援に活かせるようにする。
3	柔軟な送迎を行なっている。	遠方は田布施町からの利用がある。柔軟な体制でご利用者様にご負担がかからないように、送迎を行なっている。この度は送迎車を増やし、運転手を採用。	保護者様、ご利用者様の負担軽減を図るよう、努力いたします。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	計画的な保育活動やバリエーションに富んだ活動。	医療的ケアがあり体調が不安定なこと、体位や医療的ケアなどで制限が多く、できる保育活動のバリエーションが少ない	他の事業所との情報共有。保護者からの希望を通して、活動の幅を広げていきたい。
2	送迎等、ご家族の希望の時間に行えるようにしているが、その分、スタッフの出入りが多く、安全確保が課題。また送迎の時間が長く(従業員は往復するため)負担感が大きい。	送迎で出入りが多く、その時間帯に人手が減る。	パート採用で、不足しがちな時間帯の増員を図る。
3			